

起動費他の事後精算に関する意見募集の結果（回答の一部修正）

No	意見提出対象	スライド番号 条番号	申出 区分	ご意見内容	具体的提案	理由	元回答（2025年3月28日）	回答修正（2025年10月31日）
9	【説明資料】起動費等および経済差替時の扱いに関する事後精算について	P.6	確認	現在パブリックコメント中の需給調整ガイドラインに起動費に織り込めるのは1回までとありますが、どこからどこまでの間で織り込むことができるのか。 （例えば週間商品の入札において、7日分×8ブロックに応札する際、各ブロックの入札価格に1回分の起動費を薄く均した費用を織り込むことが可能でしょうか）。 また、前週金曜48コマ目が運転している場合、翌週分の入札価格に起動費を織り込むことは可能でしょうか。	起動費がどのように織り込めるのか具体的ではないため、本件の日替わり時点における精算に対して意見を述べること・実運用することが非常に難しいため、起動費の反映例を追加頂けないか。		ご提示いただいた1点目の例については、連続した2ブロック以上のブロックへ入札し、その連続したブロックへ1回分の起動費を薄く均した費用を織り込むことは可能です。ご提示いただいた2点目の例も起動費を織り込んで入札可能です。	ご提示いただいた1点目の例については、連続した2ブロック以上のブロックへ入札し、その連続したブロックへ1回分の起動費を薄く均した費用を織り込むことは可能です。 ご提示いただいた2点目の例についても、 <u>翌週土曜のΔkW供出のための起動に伴い前週金曜48コマ目以前の運転が必要となる場合、または、翌週土曜1コマ目以降に停止した後にΔkW供出のための起動を計画する場合は、その起動費を翌週分の入札価格に織り込むことは可能です。</u>
12	覚書（案）	P.5,6（第4条）	確認	第4条1項のヨ、ネについて、「発電電力量」と記載がありますが、「発電電力量」jは計画値でしょうか。 であれば、「発電計画値」等に用語を修正したほうが良いのではないかと。		計画値なのか、計量値なのか誤解を招くため。	「最低出力までの発電電力量」は当該電源の最低出力に達するまでの電力量という意味で使用しており、最低出力が変化する電源も踏まえ、精算対象コマの実績を指しております。	「最低出力までの発電電力量」はΔkW約定の直後に電力広域的運営推進機関へ提出する当該リソースの発電計画で設定した発電下限電力に達するまでの電力量という意味で使用しております。
16	【説明資料】起動費等および経済差替時の扱いに関する事後精算について	事後精算の対象範囲	確認	BG稼働との間が不落であった場合の事後精算対象について（詳細はメールにてパワーポイント資料をお送りします。）	(案1)約定間不落と同様に、BG稼働との間の不落ブロック(コマ)の機会費用を事後精算の対象とする。（停止・起動にかかる費用との比較も同様に対象） (案2)案1が不可の場合は前後にBG稼働があったとしても、入札価格に起動費を計上する。	約定ブロックとBG稼働との間が不落であった場合の事後精算の仕組みが記載されていないため。3次②の入札において、当日BG稼働計画があるユニットは停止しているコマの入札であっても起動費は計上しないことが想定できるが、その場合でも、約定間不落と同様に不落ブロックにも機会費用は発生すると考えられる。（メールにてお送りしたパワーポイント資料p3）	「第1回制度設計・監視専門会合（2024年9月30日）資料8」の整理において、最低出力までの発電電力量の機会費用の事後精算の対象は、約定間不落と整理されておりますので、ご提示のケースにおける機会費用は事後精算の対象外となります。 （電力・ガス取引監視等委員会へ確認済み）	「第1回制度設計・監視専門会合（2024年9月30日）資料8」で示された制度の趣旨を踏まえると、 <u>ご提示のケースにおける不落ブロックの機会費用は事後精算の対象</u> となります。（電力・ガス取引監視等委員会へ確認済み）
37	【説明資料】起動費等および経済差替時の扱いに関する事後精算について	P12,13	意見	パターン②全量不落において「発電電力量の機会費用」を精算対象としていただきたい。	パターン②全量不落においても、リソースによって起動後の最低連続運転時間の設備条件がある場合は、最低出力までの発電電力量の機会費用を精算対象とする。	リソースによっては設備上、次回停止までに最低運転時間が設定されているケースが存在することから、例として、パターン②全量不落で約定コマが1コマのみの場合、30分だけ運転して停止といった対応が困難であり、前後の運転ブロックの最低出力までの機会費用が費用回収できない。そのため、約定間全量不落（歯抜け）ではない場合も、リソースによっては最低出力までの機会費用の精算を対象としていただきたい。	パターン②全量不落において「発電電力量の機会費用」については、今回の事後精算の対象ではございません。 いただいたご意見については、電力・ガス取引監視等委員会へ連携いたします。	パターン②全量不落における「発電電力量の機会費用」については、 <u>事後精算の対象</u> となります。（電力・ガス取引監視等委員会へ確認済み）